



平成 18 年 7 月 31 日
環 境 局

ごみ減量・リサイクルの取り組みについて

1. 平成 17 年度のごみ排出量とリサイクルの状況

(1) ごみ排出量

平成 17 年度のごみ排出量は前年度比で 3.3%減少し、平成 7 年度レベルの 42 万 5 千 t まで減少した。

これは、生活ごみが若干増加したものの、再生可能な紙類の焼却工場への搬入を禁止したことにより、事業ごみが前年度比で 9.4%減少したことが大きな要因である。

(2) 市民 1 人一日当たりのごみ排出量

市民 1 人一日当たりの排出量については、1,137 g となり、前年度に比べて 38 g の減量化が図られた。

《表 1》 ごみ処理及びリサイクル状況

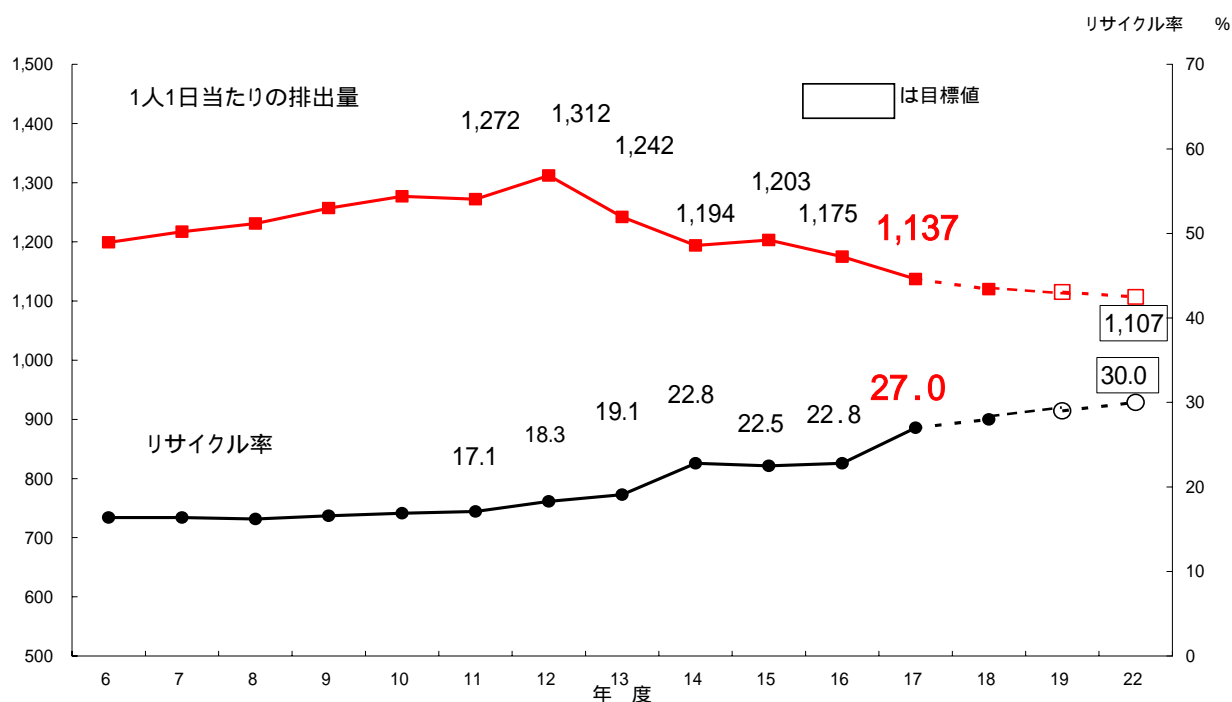
	平成 16 年度	平成 17 年度	増 減 -	対前年度 増減比
ごみ排出量 (t) A	439,774	425,191	14,583	3.3%
生活ごみ	257,781	260,340	2,559	1.0%
家庭ごみ	220,303	222,865	2,562	1.2%
缶・びん・ペットボトル	20,521	20,612	91	0.4%
プラスチック製容器包装	13,652	13,356	296	2.2%
粗大ごみ・その他	3,305	3,507	202	6.1
事業ごみ	181,993	164,851	17,142	9.4%
1 人一日当たりの排出量 (g/人・日)	1,175	1,137	38	-
	(平成 22 年度目標値 1,107g)			
リサイクル量 (t) B	119,110	144,004	24,894	20.9%
市リサイクル	36,008	35,487	521	1.4%
民間リサイクル C	83,102	108,517	25,415	30.6%
リサイクル率 (B/(A+C))	22.8%	27.0%	4.2 ポイント	-
	(平成 22 年度目標値 30%以上)			

(3) リサイクル率

リサイクル率は、前年度比で4.2ポイント上昇して、27.0%となった。

これは、紙類拠点回収の回収量が増えたことや事業者による紙類の資源化量が大幅に増えたことに加え、ごみ排出量(A)が減少した相乗効果によるものである。

《図1》 市民1人一日当たりの排出量とリサイクル率の推移



2. 平成18年度「100万人のごみ減量大作戦」施策について

1 ごみ減量・リサイクル施策

区 分	生 活 ご み	事 業 ご み
ごみの 発 生 抑 制	家庭用電気式生ごみ処理機購入費補助 生ごみ堆肥化容器購入費補助 環境配慮型消費行動の推進 乾燥生ごみのリサイクル支援 地域生ごみ共同処理	事業用大規模建築物所有者等及び 多量排出事業者指導 中小事業者への排出指導
民 間 リサイクル 促 進	集団資源回収実施団体奨励金交付 集団資源回収随時回収支援 集団資源回収事業推進研究助成 紙類の拠点回収 紙類民間回収拠点整備 古紙等定期回収支援	事業用大規模建築物所有者等及び 多量排出事業者指導（再掲） 養豚飼料回収支援 わりばし回収リサイクル 中小事業者への排出指導（再掲）
行 政 資源化	プラスチック製容器包装分別収集・資源化 缶・びん・ペットボトル等分別収集・資源化 粗大ごみ処理施設等での鉄・アルミ回収 商業施設等における臨時紙類回収 缶・びん・ペットボトル資源化（店頭回収）	事業系紙類の拠点回収

2 普及啓発・指導等

リサイクルプラザ運営管理 環境施設を見る会 ごみ減量・リサイクルキャンペーン 食器洗浄車貸出	インターネットによるごみ減量・リサイクルの 情報発信 地域の学習会や学校等への講師派遣等 のぼり・啓発パネル等の貸出
---	---

3 市民・事業者・仙台市の協働による取り組み

クリーン仙台推進員 アメニティ・せんだい推進協議会 環境配慮型店舗・事業所の認定 紙類の拠点回収（再掲）	生ごみリサイクル実践講座 紙類民間回収拠点整備（再掲） 古紙等定期回収支援（再掲） ダンボール式生ごみ堆肥化の推進
---	--

4 事業者としての主な取り組み（仙台市自身が排出するごみの減量・リサイクル）

有機性廃棄物堆肥化	プラスチック製容器包装の分別・資源化
-----------	--------------------

[個別施策の概要]

1 ごみ減量・リサイクル施策

ごみの発生抑制

(予算額の単位：千円)

事業名	18年度予算額	事業の概要	摘要
家庭用電気式 生ごみ処理機 購入費補助	補助金 25,000	補助率 1 / 2 (限度額 25,000円) 補助予定台数 1,000台 申請受付 H 18年 4 月 1 日 ~ H 19年 1 月 19日	H 11年度開始 H 17年度補助台数 971台 (H 16 ; 574台) 補助台数累計 4,625台
生ごみ堆肥化 容器購入費補助	補助金 1,800	補助金額 一律 2,000円 / 基 (1 世帯 2 基まで) 補助予定基数 900基 申請受付 H 18年 4 月 1 日 ~ H 19年 1 月 19日	H 4 年度開始 H 17年度補助基数 456基 (H 16 ; 355基) 補助基数累計 22,156基
環境配慮型消 費行動の推進 〔 企画市民局 〕	負担金等 〔 3,108 〕	レジ袋等の包装辞退など , 環境 に配慮した商品選択・行動の市民 啓発活動等を行う。 主な事業 ・ 啓発イベント等の実施 ・ 情報誌やホームページ等に よる情報提供・啓発活動	袋もらわずいいもの もらおうキャンペーン (H 15 年度開始) H 17年度 参加店104店舗 応募券配布数約54万 枚
乾燥生ごみの リサイクル支援	交換委託費 220	電気式生ごみ処理機により生 成される乾燥生ごみと野菜との 交換を全区で行うほか , 各区の環 境事業所で行う。	H 16年度開始 H 17交換実績 1,148kg
地域生ごみ共 同処理	回収委託費 維持管理費 成分検査等 2,023	電気式生ごみ処理機等を町内 会等地域団体に無償貸与し , 地域 における生ごみの循環型リサイ クルシステムの構築に取り組む。 モデル地域 (2 ヶ所) で実施 戸建住宅地域及び集合住宅	H 16年 9 月開始 生成物取出量 1,498kg (H 18.3月末) H 16 ; 646.2kg H 17 ; 852.6kg

[] で局名表示のない事業は , 環境局の所管事業

事業名	18年度予算額	事業の概要	摘要
事業用大規模建築物所有者等及び多量排出事業者指導	経常予算内	<p>事業用大規模建築物所有者等及びごみの多量排出事業者に対する個別指導の実施</p> <p>管理責任者の選任，計画書・報告書の提出，立入調査等</p> <p>対象事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3,000㎡以上の特定建築物 ・ 1,000㎡超の大規模小売店舗 ・ ごみを36 t / 年又は月平均3 t 以上排出する事業者 	<p>事業用大規模建築物所有者等指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H 5 年度開始 ・ H 17年度末対象事業所数 652件 <p>多量排出事業者指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H 12年度開始 ・ H 17年度末対象事業者数 435件 <p>H 17年度リサイクル量 52,135 t</p>
中小事業者への排出指導	経常予算内	事業者に対するごみ減量・リサイクル及び適正排出の個別指導の実施	H 17年度新規訪問指導件数4,671件

民間リサイクル促進 / 仙台市が支援・指導するもの

事業名	18年度予算額	事業の概要	摘要
集団資源回収実施団体奨励金交付	奨励金 125,203	<p>集団資源回収実施団体へ奨励金交付（半期ごと）</p> <p>実施月数割額（1,000円/月）+ 回収量割額（3円/kg）</p>	<p>S 48年開始</p> <p>H 17年度</p> <p>実施団体数 1,281</p> <p>回収量 35,449 t</p> <p>奨励金 11,718万円</p>
集団資源回収随時回収支援	設置費等 1,495	<p>回収量拡大と市民サービス向上のため，集団資源回収実施地域の市民が古紙類等の資源物を随時持ち込める保管庫を団体に無償貸与する。</p>	<p>H 12年度開始</p> <p>H 17年度設置数 10基</p> <p>H 18年度設置予定数 8 基</p> <p>募集 7 月下旬～8 月中旬</p>
集団資源回収事業推進研究助成	補助金 1,000	<p>集団資源回収事業の円滑な拡充を図るため，仙台市集団資源回収業者協議会に対し研究等の事業費を助成する。</p>	H 14年度開始

事業名	18年度予算額	事業の概要	摘要
紙類の拠点回収	設置費等 1,038	市民から排出される新聞紙,段ボール,紙パック,雑誌・雑がみを拠点回収するための保管庫を公共施設,商業施設に設置する。	H13年3月開始 H17年度までの設置箇所数 48ヶ所 H18年度設置予定 5ヶ所 H17回収量; 2,709t (H16; 1,753t)
紙類民間回収拠点整備	消耗品等 158	家庭から排出される紙類のリサイクルの推進のため,集団資源回収業者協議会の会員事業所を民間の紙類回収拠点と位置づけ,ストックヤードを開放してもらおう。	H17年度新規 H17年度未設置箇所数 104ヶ所 H17回収量; 750t
古紙等定期回収支援	業者奨励金等 2,122	家庭から排出される紙類,古布等のリサイクルの推進のため,ごみの集積所を利用した定期回収を集団資源回収未実施地域等,約2万世帯を対象にモデル的に行う。	H17年度新規 H18年4月~ 59町内会 H17回収量; 314t
事業用大規模建築物所有者等及び多量排出事業者指導(再掲)	-	-	-
養豚飼料回収支援	補助金 300	学校給食センター(2ヶ所),一部の単独調理校,市立病院,民間ホテルや病院等の事業系生ごみを養豚同業組合が豚の飼料として回収する。	H17年度実績 ・組合員 8名 ・回収量4,695t
わりばし回収リサイクル	経常予算内	日本製紙岩沼工場と協働で実施するもので,市が専用の回収箱をリサイクルプラザ等に設置し,使用済みわりばしを回収。回収されたわりばしは同工場が月一回程度,定期的に回収し,紙の原料としてリサイクルする。	H16年8月回収開始 H17年度実績 4,881kg

事業名	18年度予算額	事業の概要	摘要
中小事業者への排出指導(再掲)	-	-	-

行政資源化 / 仙台市自身が回収してリサイクルするもの

事業名	18年度予算額	事業の概要	摘要
プラスチック製容器包装分別収集・資源化	収集委託費 327,954 選別委託費 その他 443,647	ペットボトルを除く生活系のプラスチック製容器包装を週1回専用袋で収集し,市が委託する業者の施設で選別・圧縮・保管後,再商品化事業者に引き渡す。 市負担分は独自に業者委託するほか,選別施設の見学者対応を委託	H12年12月開始 (モデル事業) 各区1ヶ所対象 人口6万4千人 H14年度全市拡大 H17年度資源化量 13,044 t (H16; 13,314t)
缶・びん・ペットボトル等分別収集・資源化	収集委託費 779,405 選別委託費 その他 578,459 売却収入 239,982	缶・びん・ペットボトル・廃乾電池類を,週1回黄色のプラスチック製容器で収集し,市の資源化センターで選別・圧縮・保管後,売却又は再商品化事業者へ引き渡す。 市負担分は独自に業者委託	S59年度開始(ペットボトルはH9年10月から) H17年度資源化量 18,611 t (H16; 18,746t)
粗大ごみ処理施設等での鉄・アルミ回収	売却収入 6,899	粗大ごみ処理施設において,鉄・アルミを選別して資源化	S61年度開始 H17年度資源化量 2,632 t (H16; 2,907 t)
商業施設等における臨時紙類回収 (紙類回収キャラバン隊)	謝礼金等 1,973	市民が紙類を排出する機会を拡大させるため,紙類回収庫の設置が困難な店舗等に紙類回収車を派遣し古紙を回収する。	H16年6月開始 各区1ヶ所計5ヶ所 H17年度~ 各区2ヶ所計10ヶ所で実施 H17; 60t (H16; 28t)
缶・びん・ペットボトル資源化 (店頭回収)	缶・びん・ペットボトル等分別収集・資源化に含む。	事業者が自ら分別した上で市の資源化センターに搬入した缶・びん等を資源化 仙台市資源物店頭回収優良事業者については,処理手数料の免除等の支援を行う。	H17年度資源化量 缶・びん・ペットボトル・廃乾電池類の資源化量(18,611 t)に含む。

事業名	18年度予算額	事業の概要	摘要
事業系紙類の拠点回収	経常予算内	紙類回収施設により,事業所から排出される紙類のリサイクルを推進する。	H15年度開始 (若林環境事業所, 泉環境事業所) H16年度 (青葉環境事業所) H17; 699t (H16; 188t)

2 普及啓発・指導等

事業名	18年度予算額	事業の概要	摘要
リサイクルプラザ運営管理	葛岡・今泉リサイクルプラザ運営管理費 36,382	ごみの減量と再生利用に関する市民啓発施設であるリサイクルプラザにおいて啓発企画を実施する。また,葛岡リサイクルプラザの老朽化した展示設備を更新する。	開館 葛岡 H7年9月 今泉 H13年4月 H17年度入館者数 葛岡 75,748人 今泉 19,582人
環境施設を見る会	経常予算内	町内会,子ども会などを対象としたごみ処理施設,リサイクル施設等の環境施設見学会の実施 ワケルくんバスの運行	S48年度開始 H17年度実績 利用件数 129回 見学者数 3,772人
ごみ減量・リサイクルキャンペーン	総枠経費 12,889	家庭及び事業者から排出されるごみの減量をテーマとした広報・イベント等の実施	H17年度実績 ・事業者向けにごみ減量の啓発 ・ごみ分別減量キャラクター「ワケルくん」等による紙・生ごみ減量の重点的な啓発
食器洗浄車(ワケルモバイル)貸出	備品・消耗品費等 851	イベント等で使用される使い捨て容器の発生を抑制するため,食器と食器洗浄機を搭載したワケルくんデザインの車輛を貸出し,リデュース・リユースに関する市民意識の高揚を図る。	H16年度開始 H17年度実績 貸出先 40団体 (皿,丼,コップ併せて10,261個が節約)

事業名	18年度予算額	事業の概要	摘要
インターネットによるごみ減量・リサイクルの情報発信	2,050	ごみ減量・リサイクル情報を効果的に発信するため、ワケルくんデザインで統一した総合情報サイト「ワケルネット」を運営する。	H16年11月開始
地域の学習会や学校等への講師派遣等	経常予算内	ごみの分別、減量、リサイクルに関する地域の学習会や企業の職員研修などに職員を派遣し、啓発と協力要請を実施する。	H17年度実績 23回(参加:711人)
のぼり・啓発パネル等の貸出	経常予算内	イベントごみの減量・リサイクルを進めるため、必要な啓発資材の貸出を行う。	H17年度実績 11件

3 市民・事業者・仙台市の協働による取り組み

事業名	18年度予算額	事業の概要	摘要
クリーン仙台推進員	活動謝礼 研修費等 5,541	ごみ減量・リサイクルや環境美化推進のための地域リーダーとしてボランティア的に活動 本市が町内会の推薦により、各町内会に1～2名委嘱 本市の支援 ベスト・腕章・手帳の配付、他都市視察や施設見学等、グループ学習会による活動の活性化支援	H7年度から実施 H17年度末現在 委嘱者数1,121名 メイト 372名 活動事例 町内会でのごみ分別体験会の企画、地域の集積所での分別排出指導、不法投棄巡視など
アメニティ・せんだい推進協議会	推進協議会負担金 1,906	ごみ減量、リサイクル、環境美化などの環境問題を市民に広く訴えることを目的に設立 構成団体(15団体が参加) ACT53仙台/みやぎ生協/全環衛生事業協同組合/仙台市消費者協会/(社)仙台青年会議所/仙台市/その他	S63年度アメニティ・せんだい実行委員会設立 H13年度名称変更
環境配慮型店舗・事業所の認定	認定委員会負担金 648	ごみ減量・リサイクルに取り組む店舗のうち、一定基準以上の店舗・事業所を「環境配慮型店舗・事業所」と認定し、市民に周知する。	H12年度開始 認定数 114店舗 80事業所

事業名	18年度予算額	事業の概要	摘 要
紙類の拠点回収(再掲)	-	-	-
生ごみリサイクル実践講座	業務委託料 講師謝礼 920	本市開催の生ごみリサイクル実践講座の企画・運営を「仙台生ごみリサイクルネットワーク」に委託 生ごみリサイクル, 生ごみ減量の啓発活動, 堆肥化の指導員の育成, 生ごみ減量のための技術的システムの検討・提案などを目的とした市民団体	H14年度開始 H17年度開催実績 開催数 6回 参加延べ人数 369人
紙類民間回収拠点整備(再掲)	-	-	-
古紙等定期回収支援(再掲)	-	-	-
ダンボール式生ごみ堆肥化の推進	消耗品費等 480	地域や個人からダンボール式生ごみ堆肥化セット(腐葉土, 籾殻燻炭, 米糠)のモニターを募集し, 堆肥化を推進する。	H17年度新規 モニター数483名

4 事業者としての主な取り組み(仙台市自身が排出するごみの減量・リサイクル)

事業名	18年度予算額	事業の概要	摘 要
有機性廃棄物堆肥化	運営管理費 57,100 〔教育局 7,122〕	学校給食センター(泉・太白・青葉区計4ヶ所)・単独調理校61校・市庁舎等の生ごみ, 街路樹の剪定枝葉及びし尿系汚泥を堆肥化センターで堆肥化する。	建設着工 H13年4月 稼働開始 H14年4月 H17年度堆肥化量 1,200t (H16;1,041t)
プラスチック製容器包装の分別・資源化	経常予算内	市役所庁舎, 北庁舎等において排出されるプラスチック製容器包装を分別し, 資源化を図る。	H14年度開始